



令和4年7月15日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第15号

防災給食を実施しました

呉市は7月6日を含む1週間を「呉市学校防災週間」としています。呉市では防災教育に力を入れ、様々な活動を行っております。

本校では、7月6日（水）に防災給食を実施しました。毎日、お昼の放送では広報委員が給食に関する「ひとロメモ」を読んでおり、当日の「ひとロメモ」をご覧いただきたいと思っております。防災給食の意義をご理解いただき、ご家庭におかれましても防災時の食事が話題になっていただければと思います。



今から4年前の平成30年7月に起きた「西日本豪雨」により、呉市も大変な被害を受けて、たくさんの大切な命が奪われました。そして、その後しばらくは多くの地域で断水や道路の遮断、食料品の不足などにより、不便な生活が続きました。

呉市では、令和2年度から7月6日を含む1週間を「呉市学校防災週間」として、「自分の命は自分で守る」子供の育成を目指して、防災についての学習をしています。

蒲刈学校給食共同調理場では、今年度も「防災給食」を実施します。今回は被害を受けてライフライン（生活に必要な水道・電気・ガス・物流などのこと。）が停止し、電気と水道の復旧の目途が立たず、先に復旧したガス（プロパンガス）を使用して、備蓄品や届いた支援物資による食事（飲用牛乳は除く。）を想定した給食を用意しました。

「アルファ化米」は、一度炊飯した米を乾燥処理して米の保存性を高めた食品で、1944年に保存ができる軍隊用の食事として開発されたのが始まりです。また、「乾パン」も、1842年に保存ができる軍隊用の食事として開発されたのが始まりですが、現在では「アルファ化米」や「乾パン」は備蓄品として保存され、防災食として利用されることが多いです。

「アルファ化米」は、調理場の大きな鍋で湯を沸かし、そこにアルファ化米を入れてゆっくり混ぜて温かいごはんを作りました。「カレースープ」は、常温で保存することができる食品を使って作っているため、肉類は入っていません。そして、「おさかなウインナ」や「バナナ」は、支援物資として届くことがある食品で、これらの食品は調理せず、そのまま食べることができます。

今日の給食を通して、みなさんの防災への意識が高まってくれることを願っています。

熱中症対策について

～新型コロナウイルス感染症防止を踏まえた対策～

今年は梅雨明けが早かったのですが、不安定な天候は続き、激しい雨が降ったり、肌を刺すような日が照ったりしています。今後は、厳しい真夏の天候が続くと考えられ、熱中症が心配されます。

本校では、新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえた熱中症に対する対策や指導を次のように行っております。また、特にこの時期は「暑さ指数（WBGT）」を活用して、熱中症事故の防止に取り組めますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1 登下校時

- 帽子や日傘を積極的に使用してください。
- 首を冷やす冷却タオルといった熱中症対策グッズの利用をお勧めします。
- 他人との距離（2 m程度）がとれる場合は、マスクを外してください。



2 在校中

- 常時換気をしながら、エアコンと扇風機を活用して、適切な学習環境の維持に努めます。
- 体育の授業や部活動など、運動を行う場合は、マスクを外すよう指導します。
- こまめに水分補給をすることを指導します。
- 次のとおり暑さ指数（WBGT）を活用して、熱中症事故の防止に取り組めます。



(1) 暑さ指数（WBGT）が31℃以上の時間帯は、体育の授業、水泳指導、部活動等の運動を屋外・屋内を問わず中止にします。

(2) 暑さ指数（WBGT）については、まず、環境省「熱中症予防情報サイト」にある（「呉市蒲刈」地点）の指数を基に判断します。もし、31℃以上の場合は屋外・屋内で実測し、実測値を基に判断します。

3 その他

- 水筒のお茶など水分は十分な量を持たせてください。特に、部活動時の水分も確保するようお願いいたします。
- 大量の汗をかいた場合に着替えができるよう、肌着の替えを持たせてください。

